

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●伊藤圭三調教師がJRA通算600勝を達成

8月9日(日)の1回札幌6日・第1レースではテムファイアが1着となり、同馬を管理する伊藤圭三調教師(美浦)は、現役13人目となるJRA通算600勝(延べ8195頭目)を達成しました。

●シャーガーカップでルメール騎手は2位、武騎手は5位と健闘

現地8月8日(土)、イギリスのアスコット競馬場で行われた騎手の国際招待競走「ドバイデューティフリー シャーガーカップ」に、日本から武豊騎手(栗東・フリー)とクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)が出場しました。ともに5レースに騎乗し、武騎手は10着、3着、2着、5着、10着、計20ポイントで12人中第5位タイ、ルメール騎手は5着、4着、3着、2着、2着、計35ポイントで第2位という成績。イギリス・アイルランド選抜チームのライアン・ムーア騎手が47ポイントでシルバーサドル賞(最多ポイント獲得騎手)に輝き、チーム対抗戦はイギリス・アイルランド選抜チームが優勝、武騎手の世界選抜チームは第4位、ルメール騎手のヨーロッパ選抜チームは第2位タイとなりました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●クラスターC(盛岡)は牝馬アンズアメが重賞初出走で初制覇

クラスターC(JpnⅢ、8月11日、盛岡、1,200円)は、好発から5番手に控えたアンズアメ(川田将雅騎手、牝4歳、父ドレフォン)が、逃げ粘る2番人気の昨年の覇者サンライズアムールをゴール寸前でクビ差捉え、1番人気に応えました。クロジシジョーが4馬身遅れの3着、3番人気のボッドベイダーが4着と、4頭出走したJRA所属馬が上位を独占しています。

●地元のベストグリーンが北海道スプリントCで人気に応える

北海道スプリントC(JpnⅢ、3歳、8月13日、門別、1,200円)は、6番手から追い上げた単勝1.8倍で断然人気の地元北海道所属馬ベストグリーン(落合玄太騎手、牡、父スマートファルコン)が、残り100円を切った辺りで3番人気のエコロレーヴを差し切って2馬身差を付け、ダートグレード競走初制覇。大きく出遅れた2番人気のトウカイマシエリは3着、ラッキーキッドは4着、スマートジュリアスは6着でした。

●サッポロクラシックC(門別)はカズドリーム【各地の2歳重賞】

サッポロクラシックC(8月6日、門別、1,200円)は、2番手から4コーナー手前で逃げ馬を交わした2番人気のカズドリーム(牝、父モーニン)が後続を封じ、新馬戦から連勝。ルーキーズサマーC(8月11日、浦和、1,400円)は、先手を取った3番人気のウノキボンバイエ(牡、父ミスチヴィアスアレックス)が6馬身差で圧勝、こちらもデビュー以来2連勝としています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ホイットニーS〜ソヴリンティが今季初勝利

現地8月8日にアメリカ・ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1ホイットニーS(3歳上、ダート1,800円)はJ.アルバード騎手を背にしたソヴリンティ(牡4歳、父イントゥミスチーフ、W.モット厩舎)が後方追走から直線で突き抜けて快勝しました。4馬身3/4差の2着に昨年の米最優秀3歳牝馬ナイトロジェン。G1ドバイワールドCとG1スティーブンフォスターSを連勝して臨んだマグニチュードは先行して6着に終わりました。勝ったソヴリンティは昨年、ケンタッキーダービー、ベルmont S、トラヴァーズS(すべてダート2,000円)とG1に3勝して米年度代表馬に選出。しかし今年は4月のG2オークローンH2着、6月のG1スティーブンフォスターS3着と2戦して、勝ち星を挙げられずにいました。

●G1フォースターデイヴS〜デターミニスティックが連覇

上記ホイットニーSの2レース前に行われたG1フォースターデイヴS(3歳上、芝1,600円)はK.カームーシュ騎手とのコンビで2番手を進んだデターミニスティック(牡5歳、父リアムズマップ、M.クレメント厩舎)が逃げたG3ケルソSの勝ち馬ミバゴに1馬身半差をつけて優勝。このレース連覇を果たしました。勝ったデターミニスティックはこれで昨年5月のG2フォートマーシーS(芝1,800円)から6連勝。昨年6月のマンハッタンS(芝1,800円)でG1初制覇を果たすと、続く8月のG1フォースターデイヴSも連勝しましたが、そこからはレースを使わずに休養入り。復帰戦となった今年5月のG3フォートマーシーSを勝利で飾ると、続く前走のG1マンハッタンS(芝1,900円)も制していました。